

日本人の労働環境・働き方に関する研究

—海外の働き方との比較を踏まえて—

氏名：大山航

要旨本文

日本の労働環境は、多くの問題が山積みになっている。そのうち、長時間労働、サービス残業、低賃金、同調圧力などが代表的である。しかし、こうした過酷な労働環境の中でありながら、日本人は現場でホスピタリティ精神を発揮している。そこで、日本人の労働観がどのようなあり、日本人の性格と特徴に関係しているのか検討する。また、ホスピタリティを細分化し、ホスピタリティの仕組みについて明確にし、ホスピタリティがもたらす企業への効果と従業員側の効果についても検討する。このホスピタリティは「日本人らしさ」を表す要因だと考える。そこで日本と海外の労働者の労働環境の違いにスポットをあてて、日本と海外の働き方、労働観について検討しホスピタリティの在り方を明らかにする。こうしたホスピタリティが、変化する労働環境の中で継承できることを願う。